

小林ひろえが取り組んできた政策

実現

「しがらみ」がないからこそできる! 2年間で、約1億2千万円の経費削減

【PPS(特定規模電気事業者)の活用で経費削減】

PPS(新電力会社)から電気を購入、売却することにより、施設によっては、東京電力よりも安く電気を購入でき、高く売却できるため経費の削減が見込めます。

私が、議員になって初めての一般質問で提案し、翌年平成24年度から導入されることになりました。特定の団体から利益を得てないからこそ、提案できた取り組みといえます。

結果、平成24年と25年に戸吹清掃工場と戸吹不燃物処理センターに導入され電気料金が大幅に削減され、また、売電により収入を得ることができました。導入前に比べて、買電では、2062万円も削減され、売電では、9610万円も収入を得ました。

※合計で1億1672万円も市民サービスを低下させることなく財源を確保しました。



平成26年度行財政改革レポート 成果報告書

ICTで、防災・災害対策と市民サービスの向上

実現

平成26年7月1日号 広報はちおうじ

平成25年12月1日号 広報はちおうじ



SNS(ソーシャルメディア)

平成26年2月の大雪の日、山梨県の方が帰宅困難となりましたが、ツイッターの情報によって、八王子市が用意した一時滞在施設を知り、避難することができました。

オープンデータ

今まで八王子市では、取り組みがなく、私が初めて議会で提案し開始されました。八王子市がもってるデータを個人情報に注意しながら公開します。それを、民間がデータ分析やアプリ開発等に利用することによって市の財源を使うことなく民間の力を借り、市民サービスを向上させるという取り組みです。



ソーシャルメディアを活用して情報発信

12月2日からツイッターとフェイスブックを活用した情報発信を拡大します。防災情報をはじめ、施策やイベントの周知、フォトニュースなど各種の市政情報を配信します。市のホームページからもご覧になれます。下記の二次元コードからご利用ください。

問い合わせ 広報課 6260702
28 FAX 62633880

市民のリサイクル努力によって資源物売払い収入を毎年平均、約1億9千300万円も八王子市に貢献

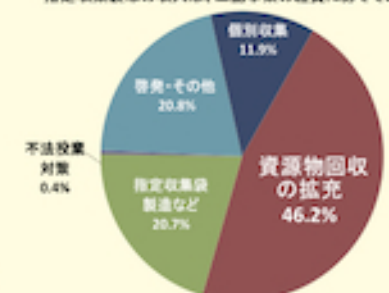
ごみ袋の値下げ要望中

ごみ有料袋の価格(20L)

清瀬市 20円・町田市 32円
八王子市 37円

八王子市では平成16年から、ごみ有料化が始まりました。

平成24年度 家庭用指定収集袋収入の使い道
指定収集袋の収入は、上記事業の経費にあてています



ごみ処理経費・資源物売払い収入



みなさんは、ごみ有料袋の価格は、高いと思いませんか?家庭用指定収集袋収入の使い道には、実は、「資源物回収の拡充」のための費用が含まれています。資源物回収の売払い収入をみてみますと、ごみ有料化が開始された平成16年の売払い収入の6197万円に対し、平成25年度は、2億6300万円と約2億円も増加しております。また、市民のリサイクル努力によって生まれた資源物売払い収入は、平成16年~平成25年までの10年間で平均、毎年約1億9300万円も八王子市に貢献しています。また、ごみの排出量は、有料化前に比べ31.3%も削減し、リサイクル率は34.3%に上昇、資源物回収量も102.5%の増加と市民の努力の成果が表れています。だったら、元々、ごみの排出を抑制する「適度な負担感のある価格」と考えて設定された、ごみ有料袋の価格を値下げしてもいいですね。引き続き八王子の高いごみ有料袋の値下げを要望してまいります。